

広 報

みなみふらのの

3

2019. MARCH No.756



「友好の町」沖縄県本部町との交流事業
(1月30日：南ふらのスキー場)

地域おこし協力隊活動記⑱

地域おこし協力隊員
服部 理沙

「落合地域食堂」

2016年12月に始めた「落合地域食堂」も私の任期に伴い残り数回となりました。こどもたちの食の乱れと孤食を何とかしたいという思いと、子育て世代がごはんを食べてゆっくりできる場、交流の場になればと思い、毎月一度落合地区多目的センターで開催を続けてきました。

落合地域食堂とは、みんなでごはんを食べる会です。用意されたものを食べるのではなく、自分でひと手間加えて完成させたものを集まったみんなで楽しく食べます。食材費の一部として大人はひとり300円をいただきますが、高校生以下と65歳以上の方は無料です。

毎月のメニューは私が提案しますが、参加者にも毎回お題を出しています。ただ食べるのではなく、こどもたちにも自分で考えて関わってもらいたいからです。創作いなり寿司の回では、こちらで用意したのはすし揚げと基本のごはん。それ以外の「詰められそうなもの」を持参してもらい、オリジナルのいなり寿司に仕上げてもらいました。ラップサンドの回ではメインを野菜とし、下金山の農産物直売所「作倶楽」に並ぶ珍しい野菜をたくさん用意しました。町内で生産されているものを知ってもらい、地元の野菜をもっと身近に感じてもらいたいと思ったからです。持ち寄ったウインナーやチーズなどと一緒の思いの野菜を巻いてラップサンドを作りました。おにぎりの回では小さなこどもたちも慣れない手つきでごはんを握り、創作丼の回ではかつお節を削る体験もできました。



毎回持ち寄ってもらうのは特別なものではなく、家庭菜園の野菜や前日の夕食の残り、キムチや納豆といった冷蔵庫に眠っているものですが、意外な組み合わせがおいしかったり、異なる食文化の人たちが集まることで新しい発見もあります。こどもたちも「何を持っていくのかを自分で考えて決めた」「家でも作った」「苦手だったけど食べられるようになった」とうれしい声も聞こえるようになりました。

参加者は落合に限らず、町内各所から。子育て世代が中心ですが、50～60代の方や部活帰りの中高生、川で働く若者が参加してくれることもあります。小さなこどもたちの面倒は中高生や小学生がみんなで見守ってくれます。おながが満たされたら外で遊んだり、ホールを駆け回ったり、絵本を読んだり。大人はそんなこどもたちの様子をそっと見守りながら、お茶を片手に子育てやまちづくりについての話が尽きません。ママが出かけていないからとパパがこどもたちを連れてごはんを食べに来たり、運動の得意なパパが集まったこどもたちに逆立ちを教えたりと、地域で子育てをするという一つの形がここに 있습니다。移住者が気軽に顔を出して多世代が交流できる場、ふらっと立ち寄って誰かと話せる場としても利用されるようになってきました。食育の観点から始めた地域食堂ですが、回を重ねるにつれて、こういう場がもっと必要だということを感じています。



協力隊としての任期は残りわずかですが、最終月まで落合地域食堂は開催します。日程などお問い合わせは役場企画課（☎52-2115）まで。

【これまでの落合地域食堂】

- 2016年12月 エゾシカのカツカレー
- 2017年1月 ほっこり和の定食
- 2017年2月 カツサンドを作ろう！
- 2017年3月 生地から手作りピザ！
- 2017年4月 創作いなり寿司
- 2017年5月 お好み焼きを作ろう
- 2017年6月好きな具材でおにぎり作り
- 2017年7月 夏野菜たっぷりラップサンド
- 2017年8月 夏の疲れをデトックス！ドライカレー
- 2017年9月 新米到来！炊きたてごはんて創作丼
- (2017年10月～2018年11月まで出産・育児休業でお休みをいただきました。)
- 2019年1月 手巻き寿司を作ろう！
- 2019年2月 餃子を包んで食べよう！



第5回 落合地域食堂 開催します。
「好きなものを詰める 創作いなり寿司作り」

■日時：2017/4/30(日) 11:00～14:00
■場所：落合多目的センター
■高校生以下と65歳以上の方は無料/おとな200円
お弁当の中にごはんを詰めてもいいじゃない！
当日は詰めしと「何か」を用意しますが、ラップでもお弁当も詰めてみたいもの持参大歓迎です。
落合以外にお住まいの方もお気軽にお越しください。
お問い合わせ先：0167-52-2115 (役場企画課)
地域おこし協力隊ハットリまで。

↑過去の開催チラシ

ようこそ 沖縄県本部町交流団の皆さん

町内の児童と交流を深める



歓迎会での三線披露

「友好の町」沖縄県本部町と、平成3年から子どもたちの交流事業が行われています。28回目を迎えた今年は、1月28日から2月1日までの日程で、本部町から21名の交流団の皆さん(小学5年生16名、随行者5名)が本町を訪れ、町内の児童と交流を深め『冬の北海道』を体験しました。

1月28日(月)、朝5時に本部町を出発した交流団の皆さんが夕方4時過ぎに本町に到着しました。

午後6時からみなくるで開かれた歓迎会では、本部町交流団有銘団長から「氷点下の北海道、雪を初めて見る児童も多く、期待に胸を膨らませています」と挨拶されました。本部町の児童からは「学校での交流、スキーや犬ぞり体験を楽しみにしています」「ホームステイで交流を深め、生活文化の

1月30日(水)は、かなやま湖でわかさぎ釣りを体験、その後多くの本部っ子が楽しみにしていたスキー体験が行われ南富良野西小学



わかさぎ釣り体験

違いを学びたいです」など一人ひとり自己紹介と抱負を発表した後、全員で元気にエイサーを披露し、大きな拍手を浴びていました。

1月29日(火)、午前中に南富良野小学校を訪問し、全体交流や5年生児童との交流学習が行われ、チューブすべりなどで交流を深めました。午後からは、落合のどころ野外学校で犬ぞりを体験し、空知川スポーツリンクスでは、カーリングを体験しました。氷の上を歩くのは初体験とあって、悪戦苦闘しながらもストーン投げ方を教わり、ミニゲームなどを楽しみました。

1月31日(木)の早朝には、ホームステイ先の家族に見送られ、本町を離れた交流団の皆さんは、札幌ドーム見学やラーメン横丁で昼食、大倉山ウインタースポーツミュージアムを見学しました。夜には観覧車から札幌市内を展望、地下鉄の乗車体験も行いました。

2月1日(金)、たくさんの思い出を胸に新千歳空港から沖縄県本部町の帰路につきました。6月下旬には、本町の6年生が本部町を訪問する予定になっています。



南富良野小児童と交流

南富高新聞

第23号

発行
南富良野高等学校

冬のボランティア活動実施報告

1月23日(水)、ボランティア同好会生徒が、本校保健主事・畠山尚大先生とスクールヘルスリーダー・大谷陽子先生の指導のもと、レッドリボン運動を校内で展開しました。ボランティア同好会が模造紙で作成した大きなクリスマスツリーに、教職員や全校生徒が、HIV感染者に偏見を持たないという証でもあるレッドリボンを貼り付けました。生徒は、世界中のアーティストがレッドリボン運動を実施していることや、エイズやHIV感染に関する知識を学ぶことが出来ました。

12月12日(水)、本校内で、ボランティア同好会による赤い羽根募金活動が実施されました。教職員をはじめ、各学年の生徒が募金活動に協力しました。校内の隅々でのボランティア同好会員の呼びかけに、心温まる募金が集まりました。生徒達は、募金を通して自分達に出来る事は何かを考え、行動することが出来た様子でした。

12月20日(木・21日(金)、今年も「エイサービセンタールゆうゆう」のクリスマス会に、本校1年生が芸術科(音楽)、家庭科(家庭総合)の教科横断型

授業の活動として、参加しました。生徒5人のギター伴奏で「見上げてごらん夜の星を」を合唱しました。また、ビンゴ大会では、生徒がデイサービスの利用者の方々と一緒にビンゴに取り組み、大いに盛り上がりました。また、サンタ役の生徒がプレゼントを渡ししました。日常、年配の方々と接する機会が少ない生徒にとって、家庭科の授業で学んだ「高齢期」について、福祉施設の利用者の方々と接することにより理解を深めることが出来ました。

また、「エコキャップ回収運動」が今年度で終了することにもない、校内で回収したペットボトルキャップを南富良野町社会福祉協議会へ生徒会執行部と協同して寄付いたしました。



シリーズ学校だより(194)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野小学校▶▶▶



みんなやっぱりスキーが大好き！
「スキー学習」
悪天候が心配されたスキー学習でしたが、なんと今年は二日間とも陽当たり良好！前日の降雪により新雪ゾーンもあり、最高のグレンデコンディションの中で実施することができました。もう一つの心配事だった一年生の滑りはとうとう...？なんとびっくり！みんな、上手！「おむ、やるな、一年生！」と全員がやる気スイッチが入ったのは言うまでもありません。子どもたちは休憩時間も惜しんで滑り続け「もっと滑りたい！」という未練をスキー場に残しつつ、学習を終えました。お手伝いしてくださった保護者の皆様、スキー協会指導員の皆様、ありがとうございました。



南の町の親善大使！
「本部町親善交流団」
南の町から16名の子どもたちが、南富良野小学校にやってきました。沖縄県本部町親善交流団の5年生です。なんと、100名以上の応募者の中から選ばれた精鋭たちなのです！到着後さっそく本部町のお国自慢をプレゼンテーション。続いて琉球舞踊を披露！さらには三線と呼ばれる弦楽器で演奏会！締めには沖縄伝統のエイサーで演舞！圧巻でした。そんな精鋭たちもレクでは普通の5年生。あとけない笑顔で大はしゃぎ！その後も、なんぶつ子5年生と雪遊びに合同給食と、楽しく過ごしました。今度は夏に、なんぶつ子たちがお世話になる予定です。楽しみが増えました！

富良野消防署南富良野支署

☎52-2119 FAX52-2979

✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp

災害案内 ☎52-3119

しょうぼう広報 ほのお

～スプレー缶等の廃棄について～

2018年12月16日、札幌市で大量のエアゾール製品の内容物が屋内で噴射され、これに引火したことが原因とみられる爆発火災事故が発生しました。

中身が残ったエアゾール缶をそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ処理施設で引火や破損の原因となり、大変危険です。事故を起こさないよう正しい方法で出しましょう。

▶正しいごみへの出し方 4step!

step 1

缶を手で握って中身の有無を確認してください。

step 2

「シャカシャカ」「チャブチャブ」など音がしたら、まだ中身が残っています。必ず使い切りましょう。

step 3

音がしなくても、まだ中身やガスが残っている場合があります。「ガス抜きキャップ」で出し切ってください。
※火気のない風通しの良い屋外で行ってください。
※「ガス抜きキャップ」がない場合は、スプレーボタンを押して完全に押し切ってください。

step 4

地域の「ごみ出しルール」を守って出しましょう。



- 製品を使い切って、缶をカラにする。
- 使い切れない場合は、中身を出して缶をカラにする。
- どうしても缶をカラにすることができない時は、商品に記載されているお客様相談室や販売元にお尋ねください。
- ☆必ず火気のない風通しの良い屋外で行う！



- 缶を振って音を聞いてみる。
- 中身が残っていると「シャカシャカ」「チャブチャブ」などの音がする。
- ☆カラだと思っても使用条件により、中身が多少残ることがあります。



- 製品に書いてある「ガス抜きキャップの使い方」をよく読む。
- ガス抜きキャップがない場合は、ボタンを押してガスを完全に抜く。
- ☆屋内で中身を出すと、近くの火気や静電気等で引火することがあり危険！



- キャップ(ふた)や噴射のためのボタン等、プラスチックを分別する。
- 南富良野町ではスプレー缶、カートリッジ式ガス管等完全に使い切った状態で穴を開けずに、買い物袋等に入れて出すようになっています！

南富良野支署出動件数 (平成31年 1月 1日～ 1月31日)

- 救急出動 8件 (内ドクターヘリ要請件数 1件)
- 火災出動 0件 (内他市町村応援出動 0件)
- 救助出動 0件

南富良野町歴史的建造物の紹介について②

平成30年度南富良野町文化財審議会へ諮問を行い、落合駅・幾寅駅を歴史的建造物として指定しました。



落合駅構内跨線橋（昭和21年3月復元）



現在の落合駅

【駅の紹介】

駅名の起源は、十勝岳の山に沿って南流してきた空知川本流シーソラブチ川と鶴川堺から北流してきたルオマンソラブチ川が、ここで落ち合って（合流）あり、それで落合という日本名が付けられました。駅は、昭和57年11月15日国鉄合理化により駅員無配置駅に、昭和61年10月3日完全に無人駅になりました。



昭和時代の幾寅駅



現在の幾寅駅

【駅の紹介】

駅名の起源は、アイヌ語「ユク・トラシ・ペツ」（鹿が・登る・川）の意味で、その上部を採って幾寅の漢字を当てたものです。駅舎は、現在地より少し落合方面に建設位置が計画されていましたが、内藤正義（内藤農場主）が300万円寄付し、自己所有農場の入口方向に駅舎の位置を変更させたといわれています。

当時は、駅乗降口が旧市街（現在の栄町）方向にありましたが、昭和8年2月に駅舎が全焼という事件が起き、同年6月に再建された時に現在の方向に乗車口が変更されました。

幾寅駅も、国鉄合理化により、昭和59年12月1日に駅員無配置駅となり、昭和60年4月1日からは、乗車券の発売及び清掃等が外部委託され、現在は完全に無人駅になりました。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら企画課広報統計係（☎52-2115）又はEメール（koho@town.minamifurano.hokkaido.jp）までお知らせください。

南富良野町子ども育成会連

町PTA連合会研修大会（1月19日）

南富良野町PTA連合会主催の研修大会が情報プラザで行われ、本町出身で料理研究家の星澤幸子先生による「食は夢の架けはし」と題して講演会が行われました。講演会にはPTA連合会の会員や学校関係者など約80名が参加し、星澤先生は「食を通じて親子の絆や教育など様々な事に繋がる」など、食の重要性について話していました。



税金について学ぶ（1月25日）

南富良野西小学校5・6年生を対象に、役場総務課税務係の職員が講師になり租税教室が行われました。児童たちは、税金の種類や税金の使い道などを学びました。また、税金のある社会とない社会の違いなどについてまとめたビデオを観賞しました。租税教室の最後には1億円のレプリカを、児童たちが持って、どれぐらいの重さなのかを体験しました。



町民スキー教室（1月26日）

町スキー連盟が主催する「町民スキー教室」が国設南ふらのスキー場を会場として、1月26日から3週連続で行われました。参加者はそれぞれのレベルに応じてグループに分かれ、スキー連盟の指導員がスキー操作など詳しく教えていました。また、スノーボードも教室も併せて行われ、安全で楽しく滑走することを学んでいました。



雪煙をあげ果敢に挑戦（2月11日）

南富良野町スキー連盟主催の第38回かなやま湖畔ジュニア・ジャイアントスラローム競技大会が、国設南ふらのスキー場で行われました。大会には、地元をはじめ富良野沿線などから幼児と小学生56名の選手が出場し、雪煙を上げながら旗門へ果敢に挑戦し、各学年男女別に分かれタイムを競いました。

- 町内出場選手組別優勝者
- 3・4年生(男子) 小林 瑛介
- 5・6年生(女子) 辻澤 花梨



3月は出会いと別れの季節。春に出会ったお友達も大きくなり、色々なことが出来るようになりました。子どもの成長は本当に早いものです。小さい時から、お父さん・お母さんの愛情をたっぷり注いであげてくださいね。4月から保育所に入るお友達。たくさん一緒にあそんだね。ぶっこのことも忘れないでね。

☆1歳ぶっこ「絵の具あそび」



ムニユーっと、初めての絵の具はどんな感触？

☆ぶっこクラブ「どんころ遠足」



雪山作って、登って、ハイチーズ♪

☆育児講演会「ハーブのお話とワークショップ」



あ～～、まったりいやされる～～

☆0歳ぶっこ



かわいい足形。みんな決まってるね♪

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

2月1日(金) 豆まき会を行いました。自分で作った鬼のお面をつけ、豆まきの歌をうたい、鬼退治ゲームをして楽しんだあとに鬼が登場！泣いてしまう小さい子もいましたが、大きい子は「鬼はそと♪福はうち♪」と元気に豆をまき、こわい鬼を追い払いました。



金山保育所

2月2日(土)に親子遠足としてどんころ野外学校に行きました。雪深い中を歩いて進み、自然の傾斜を利用した滑り台でお友達やお母さんと滑ったり、お父さん方が作ってくれたかまくらに入っておやつを食べたり、沢山の自然に触れるなど遊んで楽しみました。



こんにちは
保健師です！
保健福祉課保健指導係
☎52-2211

歯を失わないために



これまで口腔の構造、むし歯、歯周病、口腔機能について説明しました。連載は今月号で最終になります。最後に歯を失わない3つのポイントをお話しします。

南富良野町立歯科診療所診療時間

平日	月曜日～金曜日	※土日祝日は 休診です。
午前	9時00分～12時00分	
午後	14時00分～18時00分	

18時までに受付できない場合は、事前にお電話ください。○歯科診療所 ☎52-2452

歯を失わないポイント

◆自己管理

むし歯にならないための食生活や歯磨きなどの習慣化に心がけましょう。

◆早期発見・早期治療

自己管理を行っていても小さなむし歯や初期の歯周病などは、見過ごされがちです。

一年に1～2回は歯科で健診されることをお勧めします。その時に併せて歯石除去などを行い、初期の虫歯があれば治療してもらいましょう。1～2回の治療で終わるかもしれませんが、時間・医療費の節約や治療への精神的負担も軽くなるでしょう。

◆正確な情報を収集する

今は、自宅のパソコンや携帯電話などにより様々な情報が手軽に入手できますが「いつ頃の情報なのか」「外国文献なら全部翻訳されているか」など、しっかり確認することが大切です。また、一番は主治医に確認することです。

☆沢田歯科診療所長から☆

昨年の5月号から連載させていただきました。大切な歯を守るため、参考にしてみてください。

保健師からも一言

今年度は「歯」について町立歯科診療所の沢田所長のご協力により学ぶことができました。これまでむし歯や歯周病になる前に、予防するための知識を知ることができました。私たちは食べることをやめることができないので、常に外から細菌を口の中に入れていくことになります。それら細菌をきっちり除去するために歯磨きを欠かさないようにし、日々健康な生活を送りたいですね。

いざ！全国大会へ

南富良野高等学校の生徒が各種全道大会で大活躍！日頃の練習の成果を発揮し、好成績を収め、見事全国大会出場を獲得しました。

1月15日から名寄市で行われた北海道高校選手権でクロスカントリーに出場した、照井咲羅さん（2年）が5キロクラシカルで優勝、10キロフリーで3位。また、安西百々子さん（1年）はアルペンの回転・大回転とともに6位入賞、2月に秋田県で行われる全国大会の切符を手に入れました。

さらに、1月14日から空知川スポーツリンクスで行われた、全道高校カテゴリー選手権大会に出場したカテゴリー部の奥山美佳さん（3年）・目黒ちはるさん（3年）・八木橋優衣さん（1年）・坂本絢奈さん（1年）・浦穂乃花さん（1年）が熱戦を繰り広げ見事優勝、2月に青森県で行われる全国大会出場を決めました。全国大会での活躍を期待しています。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。
南富良野町へ

- 幾寅 及川敬典様より故米山好子様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 幾寅 鈴木勇様より故鈴木いせ様生前のご厚志に対するお礼として 十万円
- 金山 宮松幸子様より故宮松岩男様生前のご厚志に対するお礼として 三万円
- 幾寅 南富良野町商工会女性部様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 二万円
- 一味園・からまつ園・ごんぐら園・ふくしあへ
- 幾寅 石川信行様
- 幾寅 及川敬典様
- 幾寅 及川由美子様
- 幾寅 鷹嘴充子様
- 幾寅 黒初江様
- 下金山 小蕎敏子様
- 下金山 齋藤昭彦様
- 下金山 宮松幸子様
- 富良野市 五十嵐政博様
- 富良野市 鎌田敬子様
- 富良野市 後藤宗男様
- 富良野市 白澤英二様
- 富良野市 高田美雪様
- 富良野市 谷本美幸様
- 富良野市 森川幸作様
- 中富良野 小西洋子様
- 上富良野 高橋ちさと様
- 旭川市 伊藤元美様
- 旭川市 唐川千晶様
- 旭川市 塩ノ入三男様
- 旭川市 高橋小夜子様
- 旭川市 高橋實様
- 旭川市 中富唯夫様
- 旭川市 今村栄一様
- 鷹栖町 阿部俊夫様
- 大樹町 山内艸太郎様
- 本別町 新沼良己様
- 士幌町 神野光男様
- 浦幌町 大野健一様
- 札幌市 北富士夫様
- 札幌市 工藤一三様
- 札幌市 津田勝明様

☆お誕生おめでとう

幾寅 福永蓮太
平成31年1月16日生まれ

★お悔やみ申し上げます

幾寅 藤井智恵(44)
平成31年1月6日逝去

幾寅 工藤江美子(88)
平成31年1月8日逝去

幾寅 宮松岩男(86)
平成31年1月13日逝去

幾寅 高橋克弥(39)
平成31年1月15日逝去

金山 山好子(91)
平成31年1月15日逝去

幾寅 沖ミツエ(91)
平成31年1月21日逝去

幾寅 木村政信(90)
平成31年1月28日逝去

■わたしたちのまち

(平成31年1月末日現在)

人口 2,508人(△7)

男 1,267人(△2)

女 1,241人(△5)

世帯数 1,369戸(△6)

()内は前月比